

～海鳴い遙かに～

上高だより

平成31年2月27日 水曜日
第11号

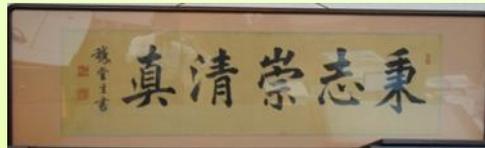


長崎県立上五島高等学校
NAGASAKI PREFECTURAL KAMIGOTOU HIGH SCHOOL



「志」

校長 原 昌紀



校長室に「真清崇志秉」（志を秉(と)ること崇く清く真なれ）と書かれた扁額が掲げてあります。本校設立当時に寄贈されたもので、幕末から明治にかけての書の大家である小野鷲堂（おのがとう）氏による書です。「秉る」とは、

心に固く守ると言う意味で、楷書で書かれた気品の高いこの書には、「上高生の志が、崇高にして真実であること」の願いが込められています。

上高草創期のことは、これまで全校集会での講話や上高ナビでも紹介しているのですが、皆さんもよく知っていることと思いますが、67年前、学校創設当時は校舎をはじめ十分な設備もない中、当時の生徒たちは、高等学校で学ぶことができる喜びと、学習に対する強い情熱、上高を自分らの手で創り出そうとする意欲で溢れていました。当時の生徒たちの持つ志は並々ならぬものだったと思います。

「志」と言われて思い出すのは、札幌農学校（現北海道大学）で初代教頭を務めたクラーク博士の「Boys be ambitious」、「少年よ、大志を抱け」という言葉です。大変有名なので、知っている人も多いと思いますが、実は、この言葉には次のような続きがあると言われています。「少年よ、大志を抱け。それはお金のためではなく、自己の利益に対してでもなく、また世の人が名声と呼ぶあのむなしなもののためでもない。人はいかにあるべきか、その道を全うするために、少年よ、大志を抱け」。クラーク博士は、「金銭にとらわれたり、自分の利益だけを考えたりするのではなく、人間としてあるべき姿を実現するために大志を抱くことが大切である」と、「志」とは、まさに崇高なものであると言っているのです。「人の身長や体重は、身長計や体重計を使えば測れる。では、人間としての大きさは何で測ればいいのか—それは、どれ程の志があるかである—」とも言われます。草創期より上高生への願いとして脈々と受け継がれてきた「崇高にして真実なる志」をしっかり持ち、その実現に向けて、それぞれの志を上高でしっかり育てていきましょう。

○3年生の皆さんへ。3月1日の卒業式では、一人一人が主役です。皆さんの凛とした姿を、来賓や保護者の方々に見ていただき、静寂の中にも、大きな感動を味わっていただけるようにしましょう。人生においては、節目での立居振舞が大変重要になります。

○3年生の保護者皆様へ。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。卒業という節目を迎えたお子様の姿に感激もひとしおと拝察いたします。平成28年4月から3年間、本校の教育方針、教育活動に深いご理解をいただき、ご協力、ご支援くださいましたことに厚くお礼申し上げます。今後とも、お子様の成長及び本校発展のため、お力添えをお願いいたします。

■ 1学年より

“最後の詰め”を誤るな

今年最後の定期考査、学年末考査も終わり、いよいよ高校1年生として過ごす日々も1か月を残すのみとなりました。野球やサッカーなどのスポーツはもちろん、将棋や囲碁などあらゆる勝負事に共通するのが、“最後の詰め”の大切さです。野球であれば9回の表裏、サッカーでいえばロスタイム、まさに勝敗を決する最後の詰めにあたるのが、高校1年生の3月ではないでしょうか。学年末考査が終わった直後に、3年生を送り出す卒業式があり、卒業式が終わったと思ったら、高校入試のための自宅学習期間に入り、球技大会で盛り上がったあという間に終業式。3月はまともに授業がある日が8日間しかない、とても慌ただしい月ですし、その慌ただしさと、授業の少なさから学習習慣が崩れやすい月でもあります。授業があまりないこの時期は、逆にいえば1年間で躓いた部分をリカバリーする絶好のチャンスです。各教科から出されるであろう課題にきちんと取り組むのはもちろんのこと、自分の自由に使える時間の使い方を考えて過ごしてもらいたいと思います。

■ 2学年より

平成31年2月2日付けの長崎新聞より引用です。「2018年の日本人の人口移動報告によると、長崎市の転出超過数は前年比488人増の2376人で、初の全国ワースト1位となった。長崎市によると、例年10代後半～20代後半の進学・就職に伴う転出が大半で、転出先は東京、関西、福岡が中心になっている。」

県庁所在地でこの状況です。気になったので上五島はどうなのかと思い総務省にアクセスしてみました。新上五島町は159人の転出超過だったそうです。

長崎県	6,311 (人) ÷ 1,337,662 (人) = 0.47%の転出超過
長崎市	2,376 (人) ÷ 415,839 (人) = 0.57%の転出超過
新上五島町	159 (人) ÷ 18,378 (人) = 0.86%の転出超過

生徒の進路実現にむけ、日々どんなサポートも惜しまない我々ですが、その結果多くの若者が就職、進学先を求めて他県に流出するジレンマもあります。私も二児の父です。いつか親元を離れ、遠いどこかで生活していくと考えておかねばいけないのかと考えました。もうすぐ別れの3月です。離れ離れになるからこそ家族のあり方を考える季節かもしれません。

■ 3学年より

～65回生の皆さん いよいよ次の世界へ 可能性は無限大 応援しています～
高校生活約1000日終了です。よく頑張りましたね。これからも日常の一つひとつの物事に全力で臨み、自分の可能性を広げてください。

○人の話や思いを受止められる人になろう。相手が何を伝えたいのか考えながらコミュニケーションをとろう。

○行動・実行できる人になろう。やってみて初めて分かることばかりです。口だけの批評家・批判家にならないように。

○素直で柔軟な人であり続けよう。『最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である。(ダーウィン)』

すべての人を自分より偉いと思って目の前のすべきことに励んでみて下さい。必ずうまくいきますし、応援してくれる人が周りに集まります。上五島の宝である皆さんが、社会の宝として輝くことを願っています。皆さんはかけがえのない人財です。しなやかに強く生きよう！！

雨にも負けず風にも負けず、頑張って走りました!!

2月1日(金)に校内マラソン大会を実施しました。雨天のため順延開催となりましたが、沿道からの地域の皆様の暖かな声援を力に変え、男子11.7km 女子6.8kmのコースに挑戦しました。また、前日の1月31日(木)に、母の会から豚汁が振舞われました。とても美味しく、翌日のマラソンの大きな活力になったとおもいます。朝早くからありがとうございました。



< 競技結果 >

団体の部
 男子**優勝** 1年3組 女子**優勝** 2年2組
 2位 2年3組 2位 1年1組
 3位 2年1組 3位 2年1組

個人の部
 男子**優勝** 田中瑠龍くん (2年4組) 女子**優勝** 山下愛海さん (1年1組)
 2位 尾上大樹くん (1年3組) 2位 吉田梓紗さん (2年3組)
 3位 高塚義友くん (1年3組) 3位 小川裕花さん (1年1組)



今年度の振り返りと来年度に向けて話し合いました!!

2月14日(木)本校体育館にて、「平成30年度第2回生徒総会」が行われました。各種専門委員会の委員長と生徒会執行部による今年度の活動報告と各クラスで出してもらった学校への要望について審議されました。この総会を通じて上高生1人1人が今年度の活動を振り返り、各種委員会のあり方や学校生活に対する考えを深めることができました。今後の学校生活がより充実したものとなるように今年度の成果や課題を学校行事や委員会活動など様々な場面で活かして欲しいと思います。



主権者教育を行いました!!

2月7日(木)平成30年度上五島高校主権者教育を実施しました。これまで、現代社会の授業や生徒会役員選挙をととして実施してきましたが、6校時間目のLHRを利用して、1年生は選挙管理委員会の方による講話、2年生は各クラスでグループに分かれて討議・討論を行ないました。これまでの学習や行事をととして、主権者としての意識を高めることができました。



3月の行事予定

1日(金) 卒業式	16日(土) ①スタディーサポート
6日(水) 高校入学者選抜(～7日)	②土曜学習会
生徒家庭学習(～8日)	20日(水) 球技大会
9日(土) ①②土曜学習会	21日(木) 春分の日
15日(金) 高校入学者選抜合格発表	22日(金) 終業式 離任任式